

令和3年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標1 文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る

施策の方向性	関係課 (集約・報告)	令和3年度		評価			課題と今後の方向性			
		取組内容	実施区分	取組結果・実績数値	R2	R3		R4		
基本方針① 気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る。	丹波市(県を含む)ならではの文化ホールイベントの充実	丹波の森公苑	●丹波の森公苑(県)主催自主事業、シュールベルティアーデたんば(ホールコンサート、街角コンサート、ふるさと音楽ひろば、キン・コン・カン・コンサート)を実施する。	継続	自主事業9事業/全30事業/R2:9事業 【シュールベルティアーデたんば】 ・ホールコンサート1事業(ガラコンサート11/13)308人/R2:1事業(映像配信)無観客11/13 ・街角コンサート2会場/R2:中止 ・ふるさと音楽広場8校/市内小学校/R2:3校/市内小学校 ・キン・コン・カンコンサート2校/市内中学校・高校/R2:希望校無	B	B	-	【丹波の森公苑】 ○ウィズコロナ社会の新しい生活様式が広がる中、ホールイベント事業の件数は前年度と比べ徐々に増加している。引き続き、県のイベント開催基準等に基づく感染防止対策を遵守し、音楽コンサート等によるホールの活性化を図っていく。 ○令和4年度はホール棟耐震工事のため、ホールの利用が出来ないことから、丹波の森公苑が行う自主事業は丹波地域内の他ホールを利用して実施するなどの対応を行っている。	
		文化・スポーツ課	●文化ホール自主事業、アマチュアアーティスト育成支援事業、映画会、ピアノ試奏会等の事業を実施する。	継続	・自主事業8事業/R2:8事業 ・アマチュアアーティスト育成支援事業4フェスタ(内2つは無観客でYoutube配信/全4フェスタ/R2:0フェスタ ・映画会 3回/R2:3回 ・ピアノ試奏会 2回(63h, 64h)24日間開催 122時間使用/R2:2回38日間91時間使用 64hは、オーバーホール完成後の試奏会 ※新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止・縮小	B	A	-	コロナ禍で事業数は少し減っているが、アマチュアアーティスト育成支援事業をはじめ、丹波市ならではの文化ホールイベントができていく。今後も継続していく。	
	市民の作品展示機会の提供	■気軽に植野記念美術館に行けるように、作品発表をしたい方に展示の機会を提供する。	植野記念美術館	●美術館の2F研修室ギャラリーを利用して作品を発表する機会を提供する。	継続	・研修室ギャラリー使用:9日間 (「丹波市ゆかりの美術作家たち 第3回UEBI ART展 足立進」令和4.2.5(土)～2.13(日))	A	A	-	今後も市民の作品展示機会の提供のため、UEBI ART展を継続して企画する。
	鑑賞・体験しやすい環境の充実	■文化ホールイベント(講演会等含む)での手話通訳・要約筆記・託児所等の充実を図り、鑑賞・体験しやすい環境を整える。	丹波の森公苑	●必要に応じて手話通訳・要約筆記の導入、託児所の設置を行う。	継続	”手話通訳(自主事業0回)総事業数9回、(貸館事業1回)/総事業数21回 ・要約筆記(自主事業0回)総事業数9回、(貸館事業1回)/総事業数21回 ・託児所(自主事業0回)総事業数9回、(貸館事業0回)/総事業数21回”	C	C	-	【丹波の森公苑】 ○引き続き、ホールイベントの内容等に応じ、必要がある場合には手話通訳・要約筆記の導入等を図っていく。
			文化・スポーツ課 ※丹波市	●必要に応じて手話通訳・要約筆記の導入、託児所の設置を行う。	継続	・手話通訳(市主催事業 2回)/総事業数 20回 ・要約筆記(市主催事業 2回)/総事業数 20回 ・託児所(市主催事業 0回)/総事業数 20回	D	D	-	ホールイベントの内容に応じて、必要がある場合には手話通訳・要約筆記をつけ、託児所を設ける。
		文化・スポーツ課 ※団体	●必要に応じて手話通訳・要約筆記の導入、託児所の設置を行う。	継続	・手話通訳(貸館事業 1回)/総事業数 34回 ・要約筆記(貸館事業 1回)/総事業数 34回 ・託児所(貸館事業 0回)/総事業数 34回	D	D	-	ホールイベントの内容に応じて、必要がある場合には手話通訳・要約筆記をつけ、託児所を設ける。	
基本方針② 市民自らが丹波市の文化芸術の良さを再認識する。	市民に対する周知事業の推進	■10ヶ寺もみじめぐり事業等、市内の文化芸術を再認識できるような取組の充実をさらに進める。	観光課 ※観光協会 ※観光課	●10ヶ寺もみじめぐり事業等、市内の文化芸術を再確認できるような取組を継続する(丹波市観光協会) ・観光サイト「SaturdayTamba」SNSでの積極的な情報発信等(観光課)	継続	・もみじめぐりは約110,000人が参加。 ・観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信を行った。	B	B	-	市民にもみじめぐりに参加していただけるような取組や、SNSを使って新たな文化的・観光資源を発信していく取組が必要。
	音楽コンサート事業の充実	■丹波の森 国際音楽祭 シュールベルティアーデたんば(街角コンサート)の充実を図る。	丹波の森公苑	●シュールベルティアーデたんば「街角コンサート」を実施する。	継続	【シュールベルティアーデたんば】 ・街角コンサート 新型コロナウイルス感染症のため、コンサートを実施せず、代替事業として、過去のコンサート映像及び街角コンサートPR動画を配信	D	D	-	【丹波の森公苑】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「街角コンサート」は前年度に引き続き中止した。今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況等をふまえ、丹波地域の方々に本物の音楽を身近で鑑賞いただけるよう「街角コンサート」を開催していく。 ○引き続き、シュールベルティアーデたんばのコンサート映像をyoutubeで動画配信するなどSNSを活用した情報発信を実施していく。
	情報発信力の強化	■文化芸術について、自治協議会や文化継承の活動に取り組む団体情報や活動情報等を一体的に発信できる仕組みを構築し、市民が文化芸術活動に触れる機会を増やす。	市民プラザ (旧市民活動支援センター)	●HP及び掲示物を充実させ、団体の活動内容や情報の発信を強化する。	新規	・展示ブース利用団体 3団体 ・自治協新聞の掲示 25自治協	D	D	-	利用団体による展示は継続しており、各団体の活動紹介など来館者に対して周知できている。 自治協新聞の掲示については、限られたスペースで全自治協の新聞は掲示できないので、キントーンでの掲示に変更した。
	地域づくり事業の支援	■丹波市地域づくり交付金、丹波市活躍市民によるまちづくり事業応援補助金等を活用し、地域における歴史や文化芸術活動を継承するために、地域独自の取組を支援する。	市民活動課	●各自治協議会での歴史をめぐる活動や文化芸術活動にかかる活動に地域づくり交付金や丹波市活躍市民におけるまちづくり事業応援補助金等により支援を行う。	継続	・自治協議会の歴史をめぐる活動支援(地域づくり交付金) 4自治協 ・自治協議会の文化祭等の活動支援(地域づくり交付金) 6自治協	D	A	-	新型コロナの影響により開催規模を見直したが、予定どおり開催することができた。 ・歴史をめぐる活動(黒井、船城、和田、竹田) ・文化祭等の活動支援(柏原、新井、生郷、沼貫、遠阪、吉見)

基本目標1 文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る

<p>基本方針③ 県と市の連携を進める。</p>	<p>県市連絡会の開催</p>	<p>■イベントに適した時期や事業内容が重なるため、年3回程度、県市連絡会を開催し、可能な限り連絡調整を行う。</p>	<p>文化・スポーツ課 ※丹波の森公園 ※丹波市</p>	<p>●4月、8月、12月に県市連絡会を開催し、年間の事業スケジュールの確認調整や、開催事業内容の確認、施設の管理運営に関する情報共有を行い、全体の事業バランスを可能な限り調整する。</p>	<p>新規</p>	<p>・連絡会の開催回数0回／全3回 ※未実施</p>	<p>D</p>	<p>D</p>	<p>-</p>	<p>県と市と連携し、情報共有しながら、地域の芸術文化が発展していくような取り組みを考える。</p>
<p>基本方針④ 文化芸術の広域交流を進める。</p>	<p>市外のアーティスト等の舞台公演の開催</p>	<p>■他市で活動する劇団やアーティストの舞台公演の開催を検討する。</p>	<p>文化・スポーツ課</p>	<p>●豊岡市の芸術祭と連携し、平田オリザ氏が主宰する劇団「青年団」の丹波市公演実現に向け、具体的調整を行う。 ●他市で活動が盛んな団体やアーティストの調査を行う。</p>	<p>新規</p>	<p>・豊岡市との事務調整会議開催回数 0回 ・県下、他市の団体調査数 0団体 ※未実施</p>	<p>D</p>	<p>D</p>	<p>-</p>	<p>豊岡市や他市の文化芸術活動が盛んな団体やアーティストを調査、把握する。</p>
	<p>美術展・展覧会の充実</p>	<p>■丹波アートコンペティション等の展覧会で、他市展覧会の受賞作品交流展の開催を検討する。</p>	<p>文化・スポーツ課 ※植野記念美術館</p>	<p>●展覧会が終了している他市を調査し、受賞作家の情報提供と、交流展を通して他市との文化交流の基盤整備を行う。</p>	<p>拡充</p>	<p>・他市との調査数 4自治体(丹波篠山市、福知山市、西脇市、伊丹市)※未実施 ・作品交流展の実現に向けて。検討を行う ※未実施</p>	<p>D</p>	<p>D</p>	<p>-</p>	<p>丹波アートコンペティションの事業として、展覧会時に他市との交流展を考えているが、その展示スペースの確保が困難な状況のため、時期をずらす、会場を変えるなど検討する。</p>
	<p>市外のアマチュア出演者の参加促進</p>	<p>■アマチュアアーティスト育成支援事業に市外出演者の参加を促し、市内出演者や観客との交流やネットワークづくりを行う。</p>	<p>文化・スポーツ課</p>	<p>●市内外出演者(団体)のプロフィールや情報(FBやHP)を公開し、観客が直接出演者(団体)とHPやSNSを通じたネットワークづくりに取り組む。</p>	<p>拡充</p>	<p>・団体情報公開承諾団体数 0団体 ・HP/SNS情報発信協力団体数 0団体 ※未実施</p>	<p>D</p>	<p>D</p>	<p>-</p>	<p>アマチュアアーティスト育成支援事業は、市内出演者だけでなく、市外からの参加もある。互いに交流していくために、舞台出演団体の登録を行い、SNS等を利用して団体のPRしたり、登録団体のHPを作るなどネットワークづくりに取り組む。</p>

【評価】

A:実施済みで十分に成果を上げている

B:実施済みである程度成果を上げている

C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない

D:未着手又は実施が困難な状況であった

令和3年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標2 文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

施策の方向性	関係課 (集約・報告)	令和3年度		評価			課題と今後の方向性			
		取組内容	実施区分	取組結果・実績数値	R2	R3		R4		
基本方針① 文化芸術活動を行う後継者の育成を行う。	文化芸術活動者の育成	■団体の活動を若い世代に発信し、活動者の育成を行う。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※関係団体	●丹波文化団体協議会、文化協会、郷土民踊保存協会の活動を、HPや広報、情報誌等を活用し、見える化を行う。	拡充	・HPでの団体事業(活動)紹介数 0事業 ※丹文協はFB有 ・広報での団体事業(活動)紹介数 0事業 ※丹文協は独自の広報誌有 ※未実施	D	D	-	文化団体会員の高齢化等により、会員が年々減少している。情報の見える化を行い、多くの方に文化団体の活動をPRするために、HPなどを活用して広報活動を行う。
	後継者育成に関する研修会・講演会の開催	■文化芸術活動の「魅力」を伝える等、各種団体へ後継者育成に関する研修会・講演会を開催する。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※関係団体	●後継者の育成が喫緊の課題となっている文化協会、郷土民踊保存会の各理事会で課題を共有し、後継者育成のために必要な取組の具体化を図る。 ●団体の既存予算内で、後継者育成研修会等を実施し、会員のモチベーションアップを目指す。	継続	・文化協会常任理事会での協議回数 0回 ・郷土民踊保存協会会長会での協議回数 0回 ・後継者育成研修会等の実施回数 未実施(文化協会) ・後継者育成研修会等の実施回数 未実施(郷土民踊保存協会)	C	D	-	会員の高齢化等により、会員数の減少や後継者の育成が課題となっている。後継者育成のために必要な研修や話し合いを進めていく。
	文化芸術活動団体への支援	■文化芸術活動を行う団体への支援(補助)を継続的に行う。	文化・スポーツ課 ※文化・スポーツ課 他	●芸術文化団体補助金等を適正に交付し、事務局としての支援を行う。	継続	・補助金交付団体/4団体/R2:4団体 ・負担金交付団体/1団体/R2:1団体	A	A	-	新型コロナウイルス感染症により、事業の中止、事業縮小のため補助金額の見直しを行ったが、感染対策をしながら各団体は継続的に活動されていた。本年度は地域での活動が戻りつつある。今後も引き続き支援していく。
	舞台運営オペレーターの育成	■舞台運営等を担うオペレーターの養成講座(全12回/年)を実施し、人材を育成する。	文化・スポーツ課	●舞台、照明、音響、フロアの4部門のスタッフを育成するため、技術職員が講師となって全12回の養成講座を実施する。	継続	・オペレーター養成講座(短期)受講生/4名/R2:1名 ・文化芸術体験講座「はじめの一步」(オペレーター養成講座※中高校生対象3名受講 ・オペレータークラブZERO-IV入会/2名/R2:1名	A	B	-	舞台運営等を担うオペレーターの養成講座を実施し、人材育成に努めた。今後も、引き続き人材育成を行っていく。
	アマチュアアーティスト育成支援事業の推進	■アマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓)について、継続して企画・運営を担える職員の育成を行う。	文化・スポーツ課	●ホール技術職員を含め、舞台サポートを中心に各フェスタを担当制で運営する職員体制を整える。 ●ホール技術職員は、知識と技術向上のための研修会を実施する。	継続	・フェスタ共通の事務職員1名、各フェスタにそれぞれ1名の技術職員を割り当てた。 ・技術職員研修実施回数0回	B	D	-	■アマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓)について、研修を実施して、継続的に企画・運営を担える職員の育成を行う。
	地域研究会への事業支援	■各地域の郷土史研究会・史実研究会等が主体的に活動するための事業支援を行う。	文化財課	●研究成果発表の場を提供するなど、活動の支援方法等を検討する。	継続	研究成果発表の場を提供するなど、活動の支援方法等を検討する。 氷上郷土史研究会と共催で企画展を開催した。	D	A	-	今後も継続して、研究会などの研究成果が発表できる場の提供に努めたい。
基本方針② 文化芸術活動への参加促進を図る。	文化芸術活動の機会の提供	■丹波アートコンペティションを実施し、入賞者は植野記念美術館で展示する等、広く活動の場とモチベーション向上の機会を提供する。	文化・スポーツ課	●第3回丹波アートコンペティション入賞作品展を植野記念美術館で行い、同時期に開催される美術館企画展と連携し、入館者増等の相乗効果を目指す。	継続	入賞作品展入館者数 337人/R2:243人 入賞作品展期間中の美術館主催展覧会入館者数486人/R2:182人	B	B	-	昨年度よりも、入館者数が増えたが、展覧会開催にあたり、SNS等を利用しながら、積極的なPR活動を行う。
	若い世代を対象とした体験活動の機会の提供	■若い世代が気軽に参加できる機会を提供する。(アマチュアアーティスト育成支援事業バンドフェスタでのジュニアステージ等)	文化・スポーツ課	●若い世代や一般市民が参加できる企画を4フェスタ毎に検討し、実施する。 ・バンドフェスタ:〇〇〇〇、ジュニアステージ ・ピアノフェスタ:〇〇〇〇 ・ダンスフェスタ:〇〇〇〇、踊ってみた ・和太鼓フェスタ:ミニ太鼓教室、一打入場 ●ポスターデザインを募集し、フェスタを接点とした様々な文化芸術活動の交流の場づくりを行う。	拡充	・バンドフェスタ:バンドフェスタ23rd ・ピアノフェスタ:みんなのピアノフェスタ2021 ・ダンスフェスタ:ダンスフェスタACT-XIX ・和太鼓フェスタ:第19打!和太鼓フェスタ「響心」 ・チラシポスターイラストデザイン画応募数1点 (バンド0点、ピアノ1点、ダンス0点、和太鼓0点) ※新型コロナウイルス感染症の拡大によりバンドフェスタ、和太鼓フェスタは無観客(Youtube配信)	C	A	-	アマチュアアーティスト育成支援事業は、バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓とも小学生には高校生が出演しており、若い世代が気軽に参加できる機会が提供できている。今後も継続してフェスタを実施していく。
	市民主体で実施している取組への支援	■たんば青春俳句祭・田ステ女俳句ラリー等、市民が主体となって実施する文化的な取組がさらにまちづくりに繋がるように支援する。	市民活動課	●丹波市俳句協会が実施する、丹波市に関わる著名俳人を顕彰と俳句文化の振興、定着を図るための事業を支援する。 ・5月 田ステ女俳句ラリー、11月 たんば青春俳句祭の開催。 ・市内小中高等学校での出張俳句教室。 ・会員、一般市民を対象とした俳句募集と表彰。 ・丹波の著名俳人を顕彰する「丹波の俳人たち」を、市内図書館、小中高等学校に配布する。	継続	新型コロナウイルス感染症対策のため事業を中止、縮小した。 ・田ステ女俳句ラリー(5/9)中止 ・第21回たんば青春俳句祭(11/6)中止 投句審査及び表彰のみ実施 ・出張俳句教室 17回 ・俳句協会俳句募集 応募者数112人、投句数220句 ・「丹波の俳人たち」を作成し関係各所に配布した。 また、俳句協会会員に配布した。	D	C	-	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定していた事業が中止や縮小をよぎなくされる結果となり、予定の成果は達成できていない。
美術関連の講座の実施	■「友の会」との連携の中で美術関連の講座等を実施し、ガイドボランティア等の活動に繋げる。	植野記念美術館	●「友の会」の美術館めぐり研修の前に、事前研修として視察予定の展覧会の内容について鑑賞講座等を開催してガイドボランティア等の活動に繋げる。	新規	・美術館めぐりの研修自体は新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止 ・研修の代替案として、友の会の会員を対象として、秋季の「広重展」と冬季の「寅年新春記念展」時に、担当学芸員による鑑賞講座(講演会)をあわせて2回行った。	D	B	-	新型コロナウイルス感染症に留意しつつ、研修旅行やガイドボランティア等の活動再開を検討する。学芸員は仕事と並行して自身の研究を行い専門性を深めて、より魅力のある講座を開催する。	
基本方針③ 団体同士の連携・協調を行う。	団体の交流の場づくりの推進	■文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。	文化・スポーツ課	●文化芸術に特化したサロンや研修会を全5回のシリーズで実施する。 ・文化団体対象サロン:9月【全シリーズ】①6月:子育て世代 ②9月:文化団体、③10月:子育て世代	新規	※未実施	D	D	-	文化芸術に関わる団体同士の交流の場がないため、交流の場を設け、そこから文化芸術活動を広げていけるよう検討する。
	展覧会等による利用促進	■春日文化ホールを展覧会の使用形態で無料開放し、分野を超えた団体が集う作品交流イベントを検討する。(仮称「丹波市文化芸術の日」事業)	文化・スポーツ課	●比較的貸館の少ない時期に春日文化ホールを展覧会の使用形態で無料開放する「丹波市文化芸術の日」として事業立案準備を進める。 ●丹波市美術作家協会等、市域で活動する文化芸術団体と協議し、丹波市文化芸術の日事業に対する理解を深める。	新規	・丹波市文化の日(無料開放)に関する協議回数2回※課内協議 ・市域で活動する文化芸術団体との協議回数 ※未実施	C	D	-	丹波市美術作家協会、市域で活動する文化芸術団体と協議し、丹波市文化芸術の日事業に対する理解を深める。

基本目標2 文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

基本方針④ 文化芸術を担う若手の芸術家の発掘・育成を行う。	文化芸術に関する交流の場づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。 	文化・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術に特化したサロンや研修会を全5回のシリーズで実施する。 ・文化芸術団体(若手芸術家)対象サロン12月、3月 【全シリーズ】①6月:子育て世代 ②9月:文化団体、③10月:子育て世代、④12月:文化芸術団体、⑤3月:文化芸術団体 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 【丹波アートコンペティション関連事業】 ・アートスパイス(美術講座)2講座/2/11現代美術 11人 2/12ドローイング 12人/R2:2講座 【文化芸術講座(はじめの一步)】2講座/12/12書 13人 12/18パステルアート 8人(新規) 	B	B	-	丹波アートコンペティションの審査員による講座を実施。また、文化芸術を身近に感じてもらうため、文化芸術体験講座「はじめの一步」を実施した。今後も、市広報掲載、SNS等で広報し、多くの人の参加を促す。
	若い活動者の発表・展示ができる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■若手作家を紹介する仕組みや、作家のアトリエシリーズ等を企画する。 	植野記念美術館	<ul style="list-style-type: none"> ●「友の会だより」に若手作家や作家のアトリエを紹介する記事を掲載する。 	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・「友の会だより」No.50に「吉居寛子」氏、No.51に「田中ひろや」氏の紹介記事を掲載。 	A	A	-	今後も「友の会だより」に若手作家や作家のアトリエを紹介する記事を継続して掲載する。
基本方針⑤ 市の中心地域に文化芸術の鑑賞・活動を行うことができる施設の整備を図る。	文化ホールの施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ■春日文化ホールが使用不能となり、また、ライブピアノいちじまが老朽化により建替えの必要が生じた際に、市の中心地域に新たに文化ホールの建設も含めた検討を行う。(丹波市生涯学習施設整備方針[適正配置計画]※平成25年2月策定) 	文化・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ●2ホールの適正な維持管理を行う。 ●備品購入、簡易な工事・修繕は、優先順位を決め、計画的に行う。 ●維持管理のために必要な保守点検業務は、分野ごとに一括発注する等、可能な限り合理化を図る。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 【備品購入】 ・英国紗幕(ライブピアノいちじま) ・広告印刷物作成用ノートパソコン1台 【簡易修繕】 ・春日5件、いちじま2件 ・スタインウェイグランドピアノノオーバーホール 	A	A	-	定期的にホールの保守点検を実施した。スタインウェイピアノを今後も末永く使用するためにオーバーホールを実施した。ホール運営に必要な広報用印刷物を作成するためのデザインソフトがインストールされたパソコンを購入した。
	住民センターの施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ■「適正配置計画」に基づき、市民の日常的な生涯学習の場や地域づくり活動の場として、現行の施設の安定した維持管理を行う。 	施設管理課	<ul style="list-style-type: none"> ●住民センターの適正な維持管理を行う。 ●工事・修繕は、優先順位を決め、計画的に行う。 ●維持管理のために必要な保守点検業務は、分野ごとに一括発注する等、可能な限り合理化を図る。 ●予防保全を基本とした、設備等の更新を計画的に実施する。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> 【工事・修繕】 ・工事11件 修繕102件(青垣児童公園遊具更新工事、青垣住民センター火災受信機更新工事ほか) 【保守点検等】 ・ピアノ調律業務等、一部の業務について一括発注を行った。また、同一業務は地域毎に契約をまとめるなどし、契約本数のスリム化を行った。 	B	B	-	<ul style="list-style-type: none"> 【工事・修繕】 ・工事11件 修繕102件(青垣児童公園遊具更新工事、青垣住民センター火災受信機更新工事ほか) 修繕等について、安全面や施設運営に支障がある箇所や設備を優先的に行い、施設を原因とする事故等は発生していない。 【保守点検】 同種業務については複数施設分をまとめて発注するなど事務負担の軽減を行った。
基本方針⑥ 丹波市(県を含む)ならではの舞台芸術等に磨きをかける。	丹波市ならではの文化ホールイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ■本市の特徴的な分野やレベルに特化した取組をさらに進める。特にアマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド22回、ピアノ22回、ダンス18回、和太鼓18回)は「丹波市完全オリジナル企画」としてPR・開催する。 	文化・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ●各種後援や協賛、協力依頼を行い、丹波市完全オリジナルな部分である「アマチュアの出演者、舞台スタッフによる市民参画型のフェスタ」を全面的出した広域的な広報を積極的に行う。 【後援】丹波市教育委員会、丹波文化団体協議会、丹波市文化協会、丹波市音楽協会、丹波市観光協会、丹波新聞社、神戸新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、両丹日日新聞社 【協賛】藤本印刷㈱、(有)光陽堂楽器、(有)ロータリー楽器、㈱ハートラベル、㈱タンパンベルグ 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・広報物の充実/ポスターデザインを一般募集し、各フェスタの宣材物のオリジナリティを高め、公共施設に配布した。 ・後援実績/丹波市教育委員会、神戸新聞者、丹波新聞社 /R2:未実施 ・協賛実績/藤本印刷㈱ /R2:未実施 	A	A	-	アマチュアアーティスト育成支援事業など丹波市ならではのホール事業ができています。ポスター、チラシ、新聞、広報誌などPR活動もできています。今後も、丹波市ならではのホール事業を行うとともに、効果的なPR活動も行っていきます。
	シューベルティアーデたんばの充実開催	<ul style="list-style-type: none"> ■シューベルティアーデたんば(ガラ・コンサート)をより身近な取組として実施する。 	丹波の森公苑	<ul style="list-style-type: none"> ●シューベルティアーデたんば「ガラ・コンサート」を実施する。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> (R3)ガラ・コンサート「シューベルトよ、今なお未完成だ ～オーケストラと心に響くひと時を～」丹波の森公苑ホールで実施。 (R2)無観客ライブ(映像配信) 	D	A	-	<ul style="list-style-type: none"> 【丹波の森公苑】 ○引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、丹波地域の方々に優れた音楽を身近で鑑賞いただけるよう「ガラ・コンサート」を開催していく。

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった

令和3年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標3 子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす

施策の方向性	関係課 (集約・報告)	令和3年度		評価			課題と今後の方向性			
		取組内容	実施区分	取組結果・実績数値	R2	R3		R4		
基本方針①	プロの演奏家との共演	■プロの演奏家を招き、子どもたちとの共演を行う。(プロの演奏家+市内中学校吹奏楽部等の共演)	文化・スポーツ課	●R3年度で6回目となるブラック・ボトム・プラス・バンド公演を市内中学校吹奏楽部とのコラボ演奏を行う。 ●公演前に、コラボ曲の演奏指導(ワークショップ)を行い、より充実した内容で実施する。	継続	【県民芸術劇場BBBB】/10月 ・コラボ演奏/氷上中14名、市島中23名 計37名/R2:2校13名 ※3年生のみ ・ワークショップ①/コラボ演奏曲事前ワークショップ2回(上記2校各1回)/R2:0回 ・ワークショップ②/上記37名+一般15名計52名/R2:34名+一般10名計44名	A	A	-	優れた舞台芸術を身近に鑑賞できる機会として、今後も継続していく。また、プロの演奏家による演奏指導(ワークショップ)も継続して実施する。子供たちの記憶に残るような体験を提供し、文化芸術に対する意識を高めていく。毎年、同じ学校が出演しているため、他の学校にも打診して、多くの人が交流ができるように検討する。
	アマチュアアーティスト育成支援事業の推進	■アマチュアアーティスト育成支援事業の各フェスタ(バンド・ピアノ・ダンス・和太鼓)の取組を行う。	文化・スポーツ課	●若い世代や一般市民が参加できる企画を4フェスタ毎に検討し、実施する。 ・バンドフェスタ:〇〇〇〇、ジュニアステージ ・ピアノフェスタ:〇〇〇〇 ・ダンスフェスタ:〇〇〇〇、踊ってみた ・和太鼓フェスタ:ミニ太鼓教室、一打入場	継続	・バンドフェスタ23rd/無観客で実施(ライブ配信) 20バンド67人出演 閲覧者194人/R2:未実施 ・ピアノフェスタ2021/1部26人出演 入場者105人(※事前申込) 2部36人出演 入場者156人(※事前申込) /R2:未実施 ・ダンスフェスタACTXIX/ 1部3チーム35人出演 入場者120人(※事前申込) 2部3チーム45人出演 入場者176人(※事前申込)/R2:未実施 ・和太鼓フェスタ/無観客で実施(ライブ配信)3チーム25人出演 閲覧者362人/R2:未実施 ※新型コロナウイルス感染症の拡大によりバンドフェスタ、和太鼓フェスタは無観客(Youtube配信)	A	A	-	アマチュアアーティスト育成支援事業は、若い世代が参加し、出演者と裏方スタッフがいっしょにこの事業を作り上げていくので、身近で鑑賞しやすい環境ができている。今後も、継続してフェスタを行っていく。R3年度もコロナ禍で、無観客で実施したフェスタもあるが、新しい試みとしてライブ配信を行った。
	普段の生活の中で、子どもたちの記憶に残るような文化芸術鑑賞・活動を行う。	■高校生企画(卒業ライブ)、ライブピアノDEクリスマス、0歳からのコンサート等、幼児から若者対象の取組をさらに進める。	文化・スポーツ課	●子どもや若い世代を対象としたイベントを充実する。 ・0歳からのコンサート:音楽系コンサート2事業 ・高校生企画:卒業ライブ1事業 ・ライブピアノDEクリスマス:クリスマスコンサート1事業 ・親子ふれあい劇場:人形劇2事業	継続	・高校生企画「卒業ライブ」1事業/3月 来場者141人 出演14組(45人) ・ライブピアノDEクリスマス「クリスマスコンサート」1事業/12月 来場者347人	B	B	-	高校生企画、出演「卒業ライブ」と子どもを対象とした「クリスマスコンサート」は毎年実施し、定着しており、一定の効果を上げている。 0歳からのコンサート等取組計画にあげている事業で、コロナ禍で事業縮小のため、来ていない事業もあった。若い世代が興味を持って参加できるような取り組みを考える。
	シューベルティアーデたんばの充実	■シューベルティアーデたんば(街角コンサート)の充実を図る。	丹波の森公苑	●シューベルティアーデたんば「街角コンサート」を実施する。	継続	・街角コンサート実施会場2会場(丹波市1会場、丹波篠山市1会場) /R2:新型コロナウイルス感染症のため、コンサートを実施せず、代替事業として、過去のコンサート映像及び街角コンサートPR動画を配信	D	C	-	【丹波の森公苑】 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「街角コンサート」は2会場での開催となり、計画どおり実施できなかった。今後、新型コロナウイルス感染症感染対策を徹底し、丹波地域の子どもたちに本物の音楽を身近で体感いただけるよう「街角コンサート」を丹波地域10会場で開催することを目標に取り組んでいく。
	美術館の団体観覧の充実	■学校単位の団体観覧だけでなく、PTA・子ども会行事等での観覧機会を増やし、学びの場を提供する。	植野記念美術館	●学校だけでなく、PTAや子ども会にも美術館の展覧会の資料や来館プログラム冊子「もっと楽しい美術館」を送付し、各団体の行事等での鑑賞機会を増やし、学びの場を提供する。	新規	・学校単位の団体観覧数 28件 ・PTA観覧数 0件 ・子ども会等団体鑑賞数 0件 ※新型コロナウイルス感染症の拡大により事業縮小	B	B	-	非来館型の鑑賞教室について研究を行う。
伝統文化や伝統芸能への子どもが参加できる環境整備	■地域づくり事業を通じて、伝統文化や伝統芸能の継承を行い、子どもたちが積極的に参加できるよう、地域との関わりをさらに充実させる。	文化・スポーツ課 ※各団体 ※各地域	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	継続	▲団体や地域を対象としたアンケート調査による実績集約 ※未実施	D	D	-	アンケート調査による活動集約ができていない。 伝統文化、伝統芸能を子どもたちに継承できるような取り組みを考える必要がある。	
基本方針②	アーティストの学校への派遣	■シューベルティアーデたんば等で学校へのアーティストの派遣をさらに充実させる。 小学生:ふるさと音楽ひろば 中学生・高校生:キン・コン・カンコンサート	丹波の森公苑	●シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」「キン・コン・カンコンサート」を実施する。	継続	・ふるさと音楽広場実施校8校/市内小学校/R2:3校 ・キン・コン・カンコンサート実施校2校(1会場)/市内中学校・高校/R2:希望校無 ※新型コロナウイルス感染症の拡大により事業縮小	B	A	-	【丹波の森公苑】 ○引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、丹波地域の子どもたちに本物の音楽を身近で体感いただけるよう「ふるさと音楽ひろば」「キン・コン・カン・コンサート」を開催していく。
	子どもの音楽体験教室・鑑賞事業の実施	■文化庁による「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣・巡回指導)」を活用するとともに、中学生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」に取り組む。	学校教育課	●文化庁による「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣・巡回指導)」を活用するとともに、中学生を対象とした「わくわくオーケストラ教室」に取り組む。また、ピッコロ劇団による「わくわくステージ」鑑賞を実施する。	継続	・文化庁「文化芸術による子供の育成事業実施校 6校(市内小・中学校)/R2:9校 ・わくわくオーケストラ実施校6校(市内中学校)/R2:0校 ※新型コロナウイルス感染症の拡大により事業への参加に慎重になっている	D	B	-	コロナ禍で事業の実施や参加に慎重になっている学校があり、十分な感染症対策が今後も課題。今後も実施方法や時期を工夫しながら、児童生徒が文化芸術に触れる機会を提供していく。
	ふるさと教育の充実	■たんばふるさと学(生活科・総合的な学習の時間等)の充実を図る。	学校教育課	●学校支援コーディネーターを中心に、各小学校で実施時期や方法を工夫し、実施する。 ・地域のゲストティーチャーから「ふるさとの良さ」を学ぶ。	継続	【工夫した取組】 ・コロナ禍において、各校で実施時期や内容を工夫しながら地域人材が適材適所で活躍できる環境を整えた。社会科学習と連動しながら総合的な学習の時間において、地域の伝統芸能や祭り、歴史等についてゲストティーチャーから学んだ。 【指標】 ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがありますか。45.9%/R2:未実施 ※R3より質問項目が変更されたため	B	B	-	コロナ禍の影響を受けながらの取組であったが、昨年に比べると各校で実施時期や方法を工夫し、ゲストティーチャーを活用した取組を実施できた。学校間で取組の差が出ていることが課題である。
	社会科副読本を活用した地域学習の充実	■社会科副読本(わたしたちの丹波市)を活用し、社会科学習において地域学習の充実を図る。	学校教育課	●副読本を活用するとともに地域にある伝統芸能、歴史、文化等、文化芸術を題材とした学習内容を充実させる。	継続	・伝統芸能、歴史、文化等、文化芸術の学習に副読本を活用した小学校 22校/R2: 22校 ・小学校4年生において地域の伝統芸能、歴史、文化等、文化芸術の授業時数 12時間/R2: 12時間	B	B	-	昨年度から、全面改訂版の社会科副読本を活用した社会科学習を進めることができています。地域の歴史、文化施設に目を向けた内容なども盛り込まれており、地域学習を進める上での重要な教材となっている。社会科学習と総合的な学習などを関連させながら、より効果のある地域学習を進めていく必要がある。

基本目標3 子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす

基本方針③ 子育ての過程で、親子で文化芸術に親しむために取組を進める。	文化芸術と子育てに関する研修会・講演会の開催	■子育てをする上で「文化芸術の鑑賞等が非常に大きな力となる」ことを伝える研修会・講演会を開催する。	文化・スポーツ課 ※子育て支援課	●文化芸術に特化したサロンや研修会を全5回のシリーズで実施する。 ・子育て世代対象サロン 【全シリーズ】①6月：子育て世代 ②9月：文化団体、③10月：子育て世代、④12月：文化芸術団体、⑤3月：文化芸術団体	継続	・子育てアートサロン「親子で楽しむふれあいコンサート」2回実施 12/18 青垣住民センター 親子12組41名 3/23 やまなみホール 親子12組24名	D	D	-	子育てをする上で「文化芸術の鑑賞等が非常に大きな力となる」ことを伝えるための研修会や講演会を実施していく。
	親子で参加し交流できる場づくりの推進	■20代～30代の子育て世代が子どもと一緒に交流できるような文化芸術サロン(交流の場)づくりを行う。	文化・スポーツ課 ※子育て支援課	●文化芸術に特化したサロンや研修会を全5回のシリーズで実施する。 ・子育て世代対象サロン 【全シリーズ】①6月：子育て世代 ②9月：文化団体、③10月：子育て世代、④12月：文化芸術団体、⑤3月：文化芸術団体	継続	・子育てアートサロン「親子で楽しむふれあいコンサート」2回実施 12/18 青垣住民センター 親子12組41名 3/23 やまなみホール 親子12組24名	B	B	-	20代～30代の子育て世代のお母さんが子どもと一緒に交流できる場ができた。今後も音楽コンサートで、子どもや若い世代が文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、親子で文化芸術を体験できる機会も検討していく。

【評価】

- A: 実施済みで十分に成果を上げている
- B: 実施済みである程度成果を上げている
- C: 実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
- D: 未着手又は実施が困難な状況であった

令和3年度「丹波市文化芸術推進基本計画」に基づく課題別施策の取組状況

基本目標4 観光・まちづくり等への有機的な連携を進める

施策の方向性	関係課 (集約・報告)	令和3年度		評価			課題と今後の方向性			
		取組内容	実施区分	取組結果・実績数値	R2	R3		R4		
基本方針① 伝統芸能・伝統文化等の保存・継承・活用を行う。	保存・継承に対する理解の促進	■若い世代へ祭り等の意義等を伝承し、保存・継承を行う。	文化・スポーツ課 ※関係団体 ※各地域	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	継続	▲団体や地域を対象としたアンケート調査による実績集約 ※未実施	D	D	-	アンケート調査未実施。地元の方や関係団体がどのようなことを望まれているかなど情報収集し、どう進めていくかを検討する必要がある。
	地域への参画	■職員自らが一人の市民として積極的に地域に参画・貢献する。	文化・スポーツ課 ※市職員	●常勤一般職員を対象としたアンケート調査による集約	継続	【職員アンケート】・年度内に地域の事業等へ参加した職員数（常勤一般職） ※未実施	D	D	-	アンケート調査未実施。地元の方や関係団体がどのようなことを望まれているかなど情報収集し、どう進めていくかを検討する必要がある。
	伝統芸能・伝統文化の活用	■若い世代が参加しやすい環境の整備を行い、伝統的な芸能や文化を大切に活用する。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※各種団体 ※各地域	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	継続	▲団体や地域を対象としたアンケート調査による実績集約 ※未実施	D	D	-	アンケート調査未実施。地元の方や関係団体がどのようなことを望まれているかなど情報収集し、どう進めていくかを検討する必要がある。
	伝統芸能・伝統文化の観光資源としての活用	■伝統芸能・伝統文化等の魅力に磨きをかけ、観光資源として活用する。	観光課 ※観光課他	・市内を周遊促進させる新たな観光パンフレットの制作と配架(観光課) ・丹波市観光サイト「SaturdayTamba」SNSでの積極的な情報発信 ・丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信	継続	・丹波市観光サイト「SaturdayTamba」、SNSでの積極的な情報発信 ・丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信 ・市の玄関口である道の駅丹波おばあちゃんの里から観光客の市内周遊を促進させる観光パンフレット(「道の駅からのよみち旅」)を制作し、配架	B	B	-	多様な情報発信手段は必要であり、SNS、HP、紙媒体の発信を継続する。より効果的な発信とするためにはフォロワーを増やすこと、HPはサイトビュー数を増やすことが課題。令和4年3月26日にリニューアルオープンし、観光の拠点化を図っている道の駅丹波おばあちゃんの里からの周遊を促進する。
基本方針② 文化財(技術を含む)の保存・継承・活用を行う。	文化財等の保存・継承・活用	■文化財等を積極的に活用することで、保存・継承に繋げる。	文化財課 ※各地域	●歴史文化遺産を次世代に継承していくため、古文書などの歴史資料の調査を行う。	継続	・歴史資料調査実施数 13件/R2:7件	A	A	-	歴史資料の調査は、調査対象によって時間を要する場合もあり件数が調査件数の少ない年度もあるが、継続して地域でまだ掘り起こされていない資料調査を行う。
	文化財等の観光資源としての活用	■文化財等の魅力に磨きをかけ、観光資源として活用する。	観光課 ※観光課他	新たに版画風「黒井城跡」スタンプを活用したスタンプラリーの実施により、市内周遊を促進させる	継続	・丹波市観光サイト「SaturdayTamba」SNSでの積極的な情報発信 ・丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信 ・版画風「黒井城跡」スタンプを活用したスタンプラリーを実施し、市内周遊を促進させた(台紙配布約4,000枚)	B	B	-	多様な情報発信手段は必要であり、SNS、HP、紙媒体の発信を継続する。より効果的な発信とするためにはフォロワーを増やすこと、HPはサイトビュー数を増やすことが課題。大河ドラマ「麒麟がくる」を契機にした「黒井城跡」の観光資源としての研磨、活用を図る。
	文化財等を活かした作品等の集積・展覧	■丹波布や稲畑人形等の文化財を活かした特徴ある展覧会を企画し、保存・継承へと繋げる。	文化財課 ※関係団体	●文化財を活かした企画展を開催する。	継続	企画展 柏原藩陣屋跡 2回/春日歴史民俗資料館 1回、ミニ企画展4回	B	B	-	文化財に興味のある方の参加は多いが、歴史に詳しくない人にもわかりやすく興味をひくテーマの企画展を検討していく。
	資料館の整理統合	■水分け資料館のリニューアルの実施、並びに各資料館の整理統合と併せて、市内に点在する文化財等の保存の充実を図る。	文化財課	●資料館統合に向けての民具の目録作成を行なう。	継続	青垣歴史民俗資料館の民具目録作成。	A	A	-	青垣歴史民俗資料館の目録は完成したが、建物の解体に向けて、展示品の保管場所の確保など管理方法の検討が必要。
	文化財保護の意識高揚	■歴史遺産を残していくために、市民の関心や保護意識の高揚を図る事業を展開する。(文化財保存活用地域計画の策定等)	文化財課	●市民に対し、身近な地域の歴史遺産に触れる機会を提供する。 ・調査結果に基づく歴史講座の開催 ・企画展関連講座の開催 ●文化材保存活用理域計画策定に向けた検討・調査を進める。	新規	・歴史講座開催及びYoutube動画配信数6回(7月・8月・9月・10月・12月・2月)/6回 ・考古学講座 1回 /0回	B	B	-	歴史講座の参加者はある程度固定しているため、今後は新規参加者の確保に向けて講座テーマを検討して開催するよう検討する。
文化財等の保存・整備事業への支援	■文化財等の保存・整備に対する補助金交付施策の充実を図る。	文化財課	●指定文化財保存整備事業を実施する。	継続	・指定文化財保存整備等の補助事業数 2事業/R2:3事業	D	B	-	コロナ禍で中止となった無形民俗文化財が多かったが、今後も引き続き実施できるよう補助・支援を行う。また、指定文化財の修理等適切な維持管理ができるように補助事業による支援を行う。	

基本目標4 観光・まちづくり等への有機的な連携を進める

基本方針③ 文化的資源を新たに発掘・活用する。	文化的資源の観光資源としての活用	■新たな文化的資源を発掘すると共に、磨きをかけ、観光資源として活用する。	観光課 ※観光課他	・市内を周遊促進させる新たな観光パンフレットの制作と配架(観光課) ・新たに「丹波巡礼の旅」の事業により、観光資源の発掘と磨きをかけるとともに市内周遊を促す。(丹波市観光協会)	継続	・丹波市観光サイト「SaturdayTamba」SNSでの積極的な情報発信 ・丹波市観光協会HPでの積極的な情報発信 ・市の玄関口である道の駅丹波おばあちゃんの里から観光客の市内周遊を促進させる観光パンフレット(「道の駅からのよみち旅」)を制作し、配架	B	C	-	多様な情報発信手段は必要であり、SNS、HP、紙媒体の発信を継続する。より効果的な発信とするためにはフォローを増やすこと、HPはサイトビュー数を増やすことが課題。 多額の費用をかけることなく情報発信できるSNSによる新たな文化的、観光資源の発信を図る。 「丹波巡礼の旅」は効果が少なく縮小の方針。
	歴史的な建物等の活用	■歴史的な建物や街なみを活用したアート展等の開催を検討する。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※各種団体 ※各地域	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	継続	※未実施	D	D	-	アンケート調査未実施。 地元の方や関係団体がどのようなことを望まれているかなど情報収集し、どう進めていくかを検討する必要がある。 柏原や青垣地域など歴史的な建物や街なみを活用したアート展などを開催できるよう、地元の方や関係団体との話し合いを検討する。
	文化的資源の学習機会の検討	■気軽に文化的資源を観ることができ学習機会を企画・検討する。	市民活動課 ※市民活動課他	●TAMBAシニアカレッジ教養講座を、植野美術館で開催する。	拡充	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前午後に参加者を分散し開催した。 ・参加者:56名(午前32名・午後24名) ・広重展～天才浮世絵師が描く日本名所紀行～	D	B	-	・2年ぶりの現地学習となり、シニアカレッジ参加者が文化芸術に触れる機会となり、有意義な講座であった。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大人数が一堂に会しての講座が難しい状況であるため、分散開催が必要となる。
	文化的資源の情報提供の仕組みの検討	■市民リポーターから文化的資源(景観・祭り・人等)の情報提供を得る仕組みを検討する。(例:インスタ映えスポット)	総合政策課 ※総合政策課他	●市民リポーターに文化的資源(景観・祭り・人等)の情報の提供を依頼する。	拡充	・雪化粧の高源寺(約200件のいいね)をはじめ、年間を通じ、市内の景観や名所、植物など情報提供数51件をFacebookで情報配信。	B	B	-	市民リポーターからは継続的に地域性や季節に合わせた情報提供を受けているが、若者世代を中心により広い年代をカバーするため、高校生や大学の学生リポーター枠の導入検討が必要である。
	芸術家・文化人の顕彰	■ゆかりの深い芸術家・文化人の作品展示や活動紹介等により顕彰を行う。	文化・スポーツ課 ※丹波市 ※各種団体 ※各地域	●団体や地域を対象としたアンケート調査による活動集約	継続	※未実施	D	D	-	アンケート調査未実施。 アーティスト、地元の方や関係団体がどのようなことを望まれているかなど情報収集し、どう進めていくかを検討する。 芸術家、文化人を顕彰するとともに、まちづくりもいっしょに進めていけるような取り組みを考える。
基本方針④ 情報発信を積極的に行う。	ビデオを活用したプロモーションの実施	■ビデオ媒体を活用し、本市の多様な文化芸術のPRを行う。	文化・スポーツ課	●文化芸術推進プロモーションビデオ等を各住民センター、美術館、資料館等で放映する。	継続	・文化芸術推進プロモーションビデオに加え、ホール事業のPRビデオを随時放映。	A	A	-	文化芸術推進プロモーションビデオに加え、ホール事業のPRビデオを随時放送している。 ホール事業のPRビデオについては、新しい映像に更新していく必要がある。
			観光課	●前年度から継続して道の駅丹波おばあちゃんの里、柏原一番館、観光課で放映し、合わせてYouTubeでも掲出を継続する。	新規	・丹波市観光プロモーション映像、黒井城跡の紹介映像を、「道の駅」丹波おばあちゃんの里、柏原一番館で放映。また、丹波市のYouTubeに全種類(日本語版、英語版)の映像を掲出。 ・再整備を実施した道の駅丹波おばあちゃんの里では新設した観光情報センターにおいて、両映像を放映。 ・丹波市観光プロモーション映像をYouTube広告に掲出した(視聴数74,400回)	B	A	-	YouTube広告はターゲット(京阪神地域在住者)を絞ることができる。また、興味のある人のみ視聴されるというメリットがあり、普段は丹波市に興味が無くても、新たに丹波市の関係人口となっていただけの可能性があり、効果的だと考える。 令和4年3月26日にリニューアルオープンし、観光の拠点化を図っている道の駅丹波おばあちゃんの里の観光情報センターは年間4万人以上の来館を見込んでおり、継続して放映する。
	情報発信手段の検討	■新たな情報発信手段を検討する。	丹波市:総合政策課、文化・スポーツ課、観光課他 丹波市教育委員会:植野記念美術館、文化財課	【総合政策課】 ・広報たんば、市ホームページ、SNS、防災行政無線放送、FM805たんば、報道関係者への資料提供で情報発信する。 【文化・スポーツ課】 ・Youtubeによる丹波アートコンペティションネットギャラリー動画配信。 【観光課】 ・観光サイト「SaturdayTamba」のインスタグラムで、ほぼ毎日のペースで丹波市の情報を発信。 【植野記念美術館】 ・美術館や展覧会の展示作業等を紹介する映像を制作し、YouTubeにアップする。 【文化財課】 ・講座の動画配信を行なう	新規	【総合政策課】 ・広報たんば、市ホームページ、SNS、防災行政無線放送、FM805たんば、報道関係者への資料提供で情報発信。 【文化・スポーツ課】 ・Youtubeによる丹波アートコンペティションネットギャラリー動画配信。 【観光課】 ・観光サイト「SaturdayTamba」のインスタグラムで、ほぼ毎日のペースで丹波市の情報を発信。 【植野記念美術館】 ・Youtubeによる展覧会の紹介等の動画配信 【文化財課】 ・歴史講座の動画配信	B	B	-	次期ホームページCMS更新に向け、SNS連携など多彩な配信に対応するため、研究を進める。 アマチュアアーティスト育成支援事業で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客で実施したため、ライブ配信を行った。 丹波アートコンペティションでも「ネットギャラリー」として、動画配信を行った。 ホール内のネット環境と整えて、無観客でもネットで配信できる環境を整える。 月に1件のペースで投稿し、年度開始時に約1,000であったフォロワー数を年度終了時には約2,500に増やすことができた。 今後も展覧毎に内容を紹介する動画を作成する。動画配信について広報を行い再生数増加に努める。 今後も新型コロナウイルス感染症対策として歴史講座に参加できない方に向けて動画配信していく。

【評価】
A:実施済みで十分に成果を上げている
B:実施済みである程度成果を上げている
C:実施済みであるが、あまり成果が上がっていない
D:未着手又は実施が困難な状況であった